

南大江地域文化祭「たんぽぽの会」にて、災害ボランティア派遣の報告を行いました。

平成30年12月2日（日） 大阪市立南大江小学校体育館で本校の教頭と、担当教諭で災害ボランティア派遣の報告を行いました。

まず、教頭から学校が安全で安心な学校づくりについての取り組みが認められ、5月24日に支援学校としては日本初のセーフティプロモーションスクールの認証を受けたこと、また、それをスタートとしてこれまでに見えなかった課題を見つけ、一つずつクリアしていくことを説明しました。



また、大阪府の安全教育総合支援事業を活用し、本校は3つのテーマに取り組んでいます。

1つめは、安全教育に関する学校間連携支援事業について。

SPSの認証を受け、安全教育を進めている、あるいはこれから進めていく学校と情報交換などし、連携を深め、お互いの学校がより安全な場所となるような取り組みを行っています。今年度は、西日本豪雨で被害のあった、岡山県、広島県、そして、台風や津波対策について、高知県に教員が向かい、情報交換をする予定です。

次に、防犯教育に関する安全マップの作成支援事業について。

本校のホームページにも試験的に掲載し、また本文化祭においても小学部で作成したマップを展示コーナーで公開しました。

小学部の児童が安全について意識を高め、一生懸命作成しました。

最後に災害ボランティア派遣支援事業です。

去年は熊本県へ行き、今年は東北地方（宮城県・岩手県）に行き、活動しました。

今回は、このボランティア活動について、担当教諭から報告・説明を行いました。



子どもたちは聴覚に障がいがあります。

しかし、自分たちにもできることがあるんじゃないか、また社会で役に立つことがあるのではないか。

そういう気持ちでボランティア活動に参加しました。

現地へ赴き、そのありさまを見て感じて、学校に戻ってきてそれを学校全体で共有する。そして、卒業してからも強い気持ちや勇気をもって行動できるのではないかと信じています。

被災地は7年以上たってもまだまだ復興の途上です。

しかし、地元の人はその感じながらも表には出さず、誰も悲しい話はしていませんでした。みんな前を向いています。

コミュニケーションについて、手話通訳だけに頼らず、自分たちでメモを取り、質問するなどして、活動の中で自分たちにもできることがあるんだということを知って、大阪に帰ってきました。

この活動の様子を動画に収めましたので、最後に見ていただきました。



南大江地域が安全で安心して暮らせるまちづくりをしていると、開会式で文化祭会長がおっしゃられていました。

本校も同じように、安全で安心して学校生活を送ることができる学校づくりを引き続き行い、南大江地域から中央区からたくさんの方のことを発信していきたいと考えています。